

令和8年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立明德小学校
(明德中学校区)

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	-2.9	-16.4
令和7年度	+3.2	+17.0
令和6年度	-5.7	-2.4
令和5年度	+11.8	+16.5
令和4年度	+9.4	+3.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 言葉の特徴や使い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと 情報の扱い方 ● 全国平均 ● 県平均 ● 本校 本校 58 % 全国 60.9 % 県 64 %	重点課題	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。(設問2ー 【書くこと】(平均正答率33.3%)) ◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。 小 設問3二 【情報の扱い方の関する事項】(平均正答率25%) 中 設問2三 【情報の扱い方に関する事項】(平均正答率42.9%)
	改善の方策	◎筋道の通った文章になるように、論の進め方について、組み立てメモを作成してから、文章を書かせる。その際、事柄の順序や内容の中心を明確にさせるだけでなく、「考えと理由や事例」「原因と結果」「疑問と解決」などのつながりや配列を工夫させる。 ◇情報の整理の仕方を理解させ、実際に話したり書いたりする学習で、それらを使って、情報を取り出し整理し、情報の関係の明確化を図る場面を設定する。
	検証	◎全国学力設問2一の問題(5・6学年 2月)目標60% ◇校内実施の学力調査【情報の扱い方に関する事項】(小1～6学年12月)目標70% 全国学力(中 設問2二)(中 第2学年 2月)目標75%
算数 数と計算 データの活用 図形 測定 変化と関係 ● 全国平均 ● 県平均 ● 本校 本校 40 % 全国 56.4% 県 58%	重点課題	◎整数と小数の減法の計算をすることに課題がある。 (設問3 (2) 【数と計算】(平均正答率25%)) ◇直方体の箱の形を構成する面について理解することに課題がある。 小 設問1 (2) 【図形】(平均正答率16.7%) 中 設問8 (3)
	改善の方策	◎整数や小数、分数を関連付けて数の表わし方の仕組みについて繰り返し指導し、色々なパターンの計算練習を取り入れる。また、キュービナを活用し下学年からの計算練習問題に取り組み、基礎基本の定着を図る。 ◇前期では、具体物を使って、図形の観察や構成などの活動を繰り返して、性質を見つけたり、確かめたりできるようにする。また、立体図形の性質や構成の仕方について平面図形と関連付けて考えさせる。中・後期では、平面図形や空間図形の内容を扱う際に、模型やデジタル学習基盤を用いて操作させる活動を設定する。また、証明を学習する際に仮定と結論を明らかにさせ、論理的に説明させる場面を設定する。
	検証	◎全国学力設問3 (2)の問題(5・6学年 2月)目標50% ◇図形に関する市販テスト(知識・技能)の問題(全学年 2月)目標50% 全国学力(8 (3))類似問題(第2・3学年 2月)目標40%

【来年度に向けて】